



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和4年6月14日号 文責:校長

◇「いのち節」に向けて◇

本校では、一年を希望節・いのち節・絆節・学び節・決意節と5つの節に分け、それぞれの節で具体的な目標を立てて生活しています。

4～5月は、希望節でしたが仲間や先生方との新たな出会いを大切に、1年間の自分の目標をしっかりと立て、よいスタートを切ることができたでしょうか。

6月1日からは「いのち節」です。

世界の良心といわれた安達峰一郎博士のふるさとこの山辺町で私達は、平和についてこれからも考えていきたいと思えます。なぜなら、平和であってはじめていのちが守られるからです。平和はいのちを繋ぐもっとも大切な条件だからです。町の庁舎も国際司法裁判所の建物をデザインして作られました。

さていのち節の具体的な活動として、

○人権の花植え ○いのちの講話 ○部活動への取り組み があります。

私はいのちを大切にすることは、毎日の生活を大切にすることだと考えています。毎日楽しい日が続くわけはありません。うまくいかないこともあります。そんな時は、今できることをこつこつ取り組む。必ずその努力は結果となって皆さんに返ります。

今日からいのち節です。いのちの大切さを学び、皆さん一人ひとりのいのちと仲間のいのちを輝かせましょう。

いのちを大切にする生徒とは「平和を愛し～健康で逞しく生き抜く生徒」です。

平和があってはじめてわたし達の命は守られるということ、敵味方でなく困っている人がいれば行動を起こすということ、そしていのちを大切にすることは毎日の生活を大切にすること、について話をしました。

中学校生活は小学校生活に比べてあっという間です。目標をしっかりと立て全力で取り組みましょう。

(6月1日「いのち節」朝会 校長講話 抜粋)

(講話のスライドより)

毎日の生活を大切にする

早寝 早起き 朝ごはん
知力、体力 朝から全開 !!

花の咲かない冬の日、下へ下へと根を伸ばせ
やがて大輪の花が咲く

中学校生活はたった3年間
目の前のやるべき事に全力を傾けよう



6月8日 人権の花植え

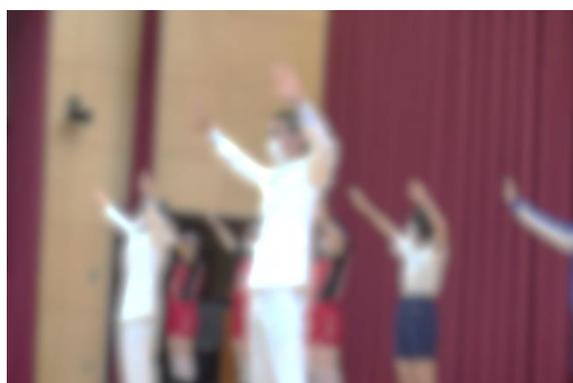


<地区中総体壮行式>

6月18日19日に迫った東村山地区中総体の壮行式が、6月10日金曜日に行われました。

この2年間はコロナ禍で、保護者の皆様にご案内を出せずに心苦しい思いでしたが、今回は3年生に限り1家庭1名の保護者の方を迎えて実施することができました。

堂々とした入場とステージでの決意発表では、大会に臨む選手の真剣な思いが伝わりました。感染予防対策のため、全校生で声を出しての応援はできませんでしたが、各部に精いっぱいの手拍りで気持ちを伝え合った壮行式でした。



今回の大会では、会場ごと保護者の観戦条件が異なりますので、各競技のお知らせを確認の上、ご協力をお願いいたします。なお、試合の結果についてのメール配信は、団体戦のみにさせていただきます。個人戦の結果につきましては、次の学校だよりでお知らせいたします。ご了承ください。